

整理番号	1	-	3	-	3	4
------	---	---	---	---	---	---

**平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」  
【テーマ B】 学生支援推進プログラム 申請書（様式）**

設置の形態	私立	※ 国立 公立 私立 のうちいずれかを記入してください。
大学・短期大学・高等専門学校名	比治山大学	
所在地	〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1	
設置者名	学校法人 比治山学園	
学長等の氏名	高橋 超	

取組期間	平成21年度 ～ 平成23年度					
取組名称 〔全角30字以内〕	学	生	一	人	ひ	と
	り	に	対	応	し	た
	形	成	支	援	体	制
	の	構	築			

単独・共同別	単 独	※ 単独・共同 のうちいずれかを記入してください。
共同申請の場合の共同先の大学等名		

ふりがな	どばし ゆきまさ	所属部署名 及び職名	副学長（教育学生担当）・教学委員会委員長・現代文化学部教授
取組担当者	土橋 幸正		
電話番号	(勤務先) 082-229-0121	(自宅又は携帯電話) 082-237-3192	
F A X 番号	082-229-5100		
e-mail アドレス	soseki@hijiyama-u.ac.jp		

ふりがな	とようら じゅんしょう	所属部署名 及び職名	事務局・事務局長（兼学長室長）
事務担当者	豊浦 順昭		
電話番号	(勤務先) 082-229-0121	(自宅又は携帯電話) 082-434-8259	
F A X 番号	082-229-5100		
e-mail アドレス	toyoura@hijiyama-u.ac.jp		

取組の概要【400字以内】 ※ 半角数字、アルファベットに限り0.5字として計算してください。

本取組は、①共通教育の一環として「キャリア形成」科目を1年次から4年次まで系統的に開設し、主体的なキャリアデザイン力及び望ましい職業観を育成する②入学時から卒業時までチューター制による学生のニーズや適性等に対応したきめ細かい個別指導を継続的に推進する③キャリアカウンセラーを配置し、学生の進路ニーズ等に対応できるキャリアカウンセリング体制を整備する④学生のニーズや適性等に対応した求人企業等の開拓及び各種資格取得が可能となる「キャリア支援講座」を開設する⑤就職活動の円滑な遂行を支援するための独自のガイドブックを作成する⑥定期的に保護者を開催し、保護者用の就職支援ガイドブックを配布して保護者との連携を強化する⑦キャリア形成支援を効果的に遂行できる教員の資質向上のためのFDを継続的に実施するなど、学生一人ひとりに焦点を当てた全学のかつ総合的なキャリア形成支援・進路保障を目指すものである。

(文字数：395字)

1 取組の趣旨・目的・達成目標 [申請書類等作成・提出について P. 4 参照]

- ・取組の趣旨・目的 (学士力の確保や教育力向上のための取組か。)

本取組は、小規模大学の特性を生かし、学生一人ひとりのニーズや適性、個性等にきめ細かく対応しつつ、全ての学生が自らの力で進路設計ができる力を育成するとともに、望ましい職業観や社会人としての規範意識を習得させ、適性や個性等にマッチした職業選択を実現することを目的としたものである。

- ・達成目標 (明確な達成目標となっているか。)

本取組の主たる達成目標は、①日常生活を自己管理できる力、②自分の適性や個性を発見できる力、③望ましい職業観、④将来の生活を設計できる力、⑤就職活動に必要な知識・技能、⑥社会人として必要な規範意識やマナー等の修得をとおして、学生一人ひとりのニーズや適性に応じた主体的な進路選択 (職業選択等) の実現を支援することである。

2 取組の具体的内容・実施体制

- ・取組の具体的内容 (目的・達成目標に有効な具体的内容となっているか。)

①共通教育科目である「キャリア形成」科目の開設、②チューターによる入学時から卒業時までのきめ細かい継続的な個別指導、③キャリアカウンセラー配置によるキャリアカウンセリング体制の確立、④学生のニーズに応じた課外講座の開設、⑤就職活動支援のためのガイドブックの作成、⑥保護者会の開催による保護者との連携強化、⑦教員のキャリア形成支援スキルの向上等である。

- ・取組の実施体制 (具体的な実施体制となっているか。)

学長を委員長とした「キャリア教育推進会議」(平成17年1月設置)によって、本取組を運営・実施する。本会議は、学長のほか、副学長(教育学生担当)、学部長、短期大学部長、教学委員長、学生委員長、就職委員長、事務局長、学長室長、学生支援室長、キャリア支援室長で組織され、基本方針の策定、実施計画の企画・立案、進行管理及び点検評価等を所掌する。

3 取組の評価体制・評価方法

- ・取組の評価体制 (具体的な評価体制となっているか。)

取組全体は、キャリア教育推進会議が評価するが、個別の取組については、①キャリア形成科目は教学委員会、②チューターによる指導状況、保護者との連携、キャリアカウンセリング、課外講座及びガイドブックについては就職委員会、③FDは大学評価委員会がそれぞれ点検評価し、これらをもとにしながら、キャリア教育推進会議において取組全体について評価する。

- ・達成目標に対する達成度についての指標 (具体的な指標となっているか。)

自己管理能力、自己発見力、職業観及びキャリアデザイン力等については、キャリア形成科目の期末試験成績を中心に達成度を評価するが、併せて「社会人キャリア力育成検定」(社会人キャリア育成検定委員会作成)を実施し、達成度の指標とする。取組全体の指標は、卒業時の進路決定率及び選択した進路に対する学生の満足度とする。

4 取組の実施計画等

- ・実施計画 (具体的な実施計画となっているか。)

取組初年次は、学生及び保護者用のキャリア支援ガイドブックの作成、自己管理能力育成のための学生手帳の作成、課外講座の開設、保護者会の開催、キャリアカウンセラーの配置等である。2年次は、初年次取組に加えて、チューターによる指導の電子ポートフォリオ作成、キャリアカウンセラーの増員配置、教員研修会の開催等である。3年次は、2年次までの取組を充実強化する。

- ・ 財政支援期間終了後の展開（具体的な展開となっているか。）

3年間の取組成果の点検評価を踏まえつつ、学長を委員長とした「キャリア教育推進会議」の下で、求人環境や社会的諸環境の変化に臨機応変に対応し、学生一人ひとりに応じたきめ細かいキャリア形成・進路保障支援のための全学的体制を強化する。なお、取組期間中に要した経費等については、大学経費によって措置することとする。

## 5 大学・短期大学・高等専門学校の基本情報【ページ制限なし】

[申請書類等作成・提出について P. 5 参照]

## (1) 大学・短期大学・高等専門学校の規模(平成21年5月1日現在)

学部等名又は学科名	収容 定員数	入 学 者 数	在 学 者 数	専 任 教員数
現代文化学部	1,270	334	1,219	51
(合 計)	1,270	334	1,219	51

\* 1 大学は学部、短期大学、高等専門学校は学科単位で記入してください。

\* 2 専攻科、別科及び大学院並びに附属施設、研究所等についての記入は必要ありません。

## (2) 取組の実施期間中の組織改編等の予定と影響の有無

「なし」

## (3) 本申請の取組の内容、経過、成果等に関する情報の積極的な提供の方法・体制

## 【情報提供の方法】

- ① 平成21年6月 3年間の取組の内容をホームページで公表
- ② 平成22年1月 初年次取組の経過をホームページで公表
- ③ 平成22年3月 初年次取組の成果について公開報告会を開催
- ④ 平成22年5月 初年次取組の成果等をホームページで公表
- ⑤ 平成22年11月 2年次取組の経過をホームページで公表
- ⑥ 平成23年3月 2年次取組の成果について公開報告会を開催
- ⑦ 平成23年5月 2年次取組の成果等をホームページで公表
- ⑧ 平成23年11月 3年次取組の経過をホームページで公表
- ⑨ 平成24年3月 取組の内容、経過、成果等を最終的に取りまとめホームページで公表

## 【情報提供の体制】

本取組に関する情報提供は、学長を委員長とする「キャリア教育推進会議」を責任組織として行う。取組担当者は、取組の進捗状況を学長に報告し、学長の指示のもとで積極的な情報提供を行う。

具体的には、次の手順により情報提供を行う。

- ① 取組担当者は、情報提供の内容を学長に報告
- ② 情報提供の内容を「キャリア教育推進会議」で検討し決定
- ③ 学長の指示によりホームページ管理者がホームページに掲載
- ④ 学長、取組担当者は、ホームページに掲載された内容を確認

(注)「キャリア教育推進会議」：学長、副学長(教育学生担当)、学部長、短期大学部長、教学委員長、学生委員長、就職委員長、事務局長、学長室長、学生支援室長、キャリア支援室長

6 「データ、資料等」 [申請書類等作成・提出について P. 5 参照]

- 【A】：内定取消しを受けた学生 1人
- 【B】：企業から内定辞退の示唆などの連絡を受けて内定を辞退した学生 0人
- 【C】：最終学年に在籍していた学生 3 6 8人
- 【D】：内定取消しを受けた学生【A】及び企業から内定辞退の示唆などの連絡を受けて内定を辞退した学生【B】のうち他の企業等から内定を受けた学生 0人
- 【E】：最終学年に在籍していた学生【C】のうち就職を希望していた学生 2 2 3人
- 【F】：就職した学生 1 5 0人
- 【G】：求人件数 9 4 1人
- 【H】：最終学年に相当する入学定員 3 3 0人
- 【I】：就職支援に関する業務を主たる職務とする職員  
(常勤・非常勤を問わない) 4人

[比率については、小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位までを記入]

- (1) 最終学年在籍の学生に対する内定取消しを受けた学生等の比率  
 $(【A】 + 【B】) / 【C】$  0 . 2 7 %
- (2) 内定取消しを受けた学生等に対する他の企業等から内定を受けた学生の比率  
 $【D】 / (【A】 + 【B】)$  0 . 0 0 %
- (3) 最終学年在籍の学生の就職率  
 $【F】 / 【E】$  6 7 . 2 6 %
- (4) 最終学年在籍の学生に対する求人件数の比率  
 $【G】 / 【E】$  4 2 1 . 9 7 %
- (5) 就職支援体制
  - ・就職支援相談窓口の有無 (有)・無
  - ・最終学年に相当する入学定員に対する就職支援担当職員1人当たりの学生数  
 $【H】 / 【I】$  8 2 . 5 0 人

※ その他必要に応じて記入してください。【2ページ以内】

7 過去の選定状況【ページ制限なし】 [申請書類等作成・提出について P. 6 参照]  
[プログラム名： ]

(選定年度)

(申請形態)

(名称)

「該当なし」